

## ■ 運動施設

- ・ 重層構造の体育館
- ・ プールは小中共有の屋内温水プールを最上階に設置
- ・ 水深管理は床可動式で対応



## ■ 異学年交流

- ・ ランチルームで交流給食
- ・ 和室で市民科の授業
- ・ 体育館や音楽教室で部活動
- ・ 各階の多目的スペースやこもれびデッキでは自然発生的な交流が日常的に見られる



# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## ■ 小中一貫教育の実施に至る経緯

- 豊里町時代の平成15年に小中一貫教育特区認定
- 平成16年度から小中別々の校舎で一貫教育を開始
- 中学校の校地に増築し、平成19年度から施設一体型校舎として使用開始

## ■ 学校概要、施設概要

- |         |        |        |                  |
|---------|--------|--------|------------------|
| ▪ 学級数   | 小学校    | 12+3   | 学級               |
|         | 中学校    | 6+2    | 学級               |
| ▪ 児童生徒数 |        | 557    | 名                |
| ▪ 教職員数  |        | 55     | 名                |
| ▪ 校地面積  |        | 37,160 | m <sup>2</sup>   |
| ▪ 建物面積  |        | 8,744  | m <sup>2</sup>   |
|         | (うち増築) | 3,085  | m <sup>2</sup> ) |
| ▪ 建設年   | (増築)   | 平成 19  | 年                |
|         | (既存)   | 昭和 57  | 年                |



# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## ■ 学校運営の概要

- ・ 学年区分は「3－4－2」
- ・ 校舎のゾーニング、授業方法、校時、部活動、制服は小中で区分

	学年区分	PTA	ゾーニング	授業方法	運営方式	部活動	校長ポスト	主な行事	校時	制服						
1年生	低学年	小中PTA一本化	1階	学級担任制	特別教室型	なし	1人	全校遠足、運動会、自由参観等	授業の 一単位時間 45分	自由服装						
2年生			1階													
3年生			1階													
4年生	中学年		2階	一部教科担任制												
5年生			2階													
6年生			2階													
7年生	高学年		2階	教科担任制							部活動				50分	制服着用
8年生																
9年生																

凡例  : 運営項目別の学年のまとまりを表す。

# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## ■ 施設利用状況

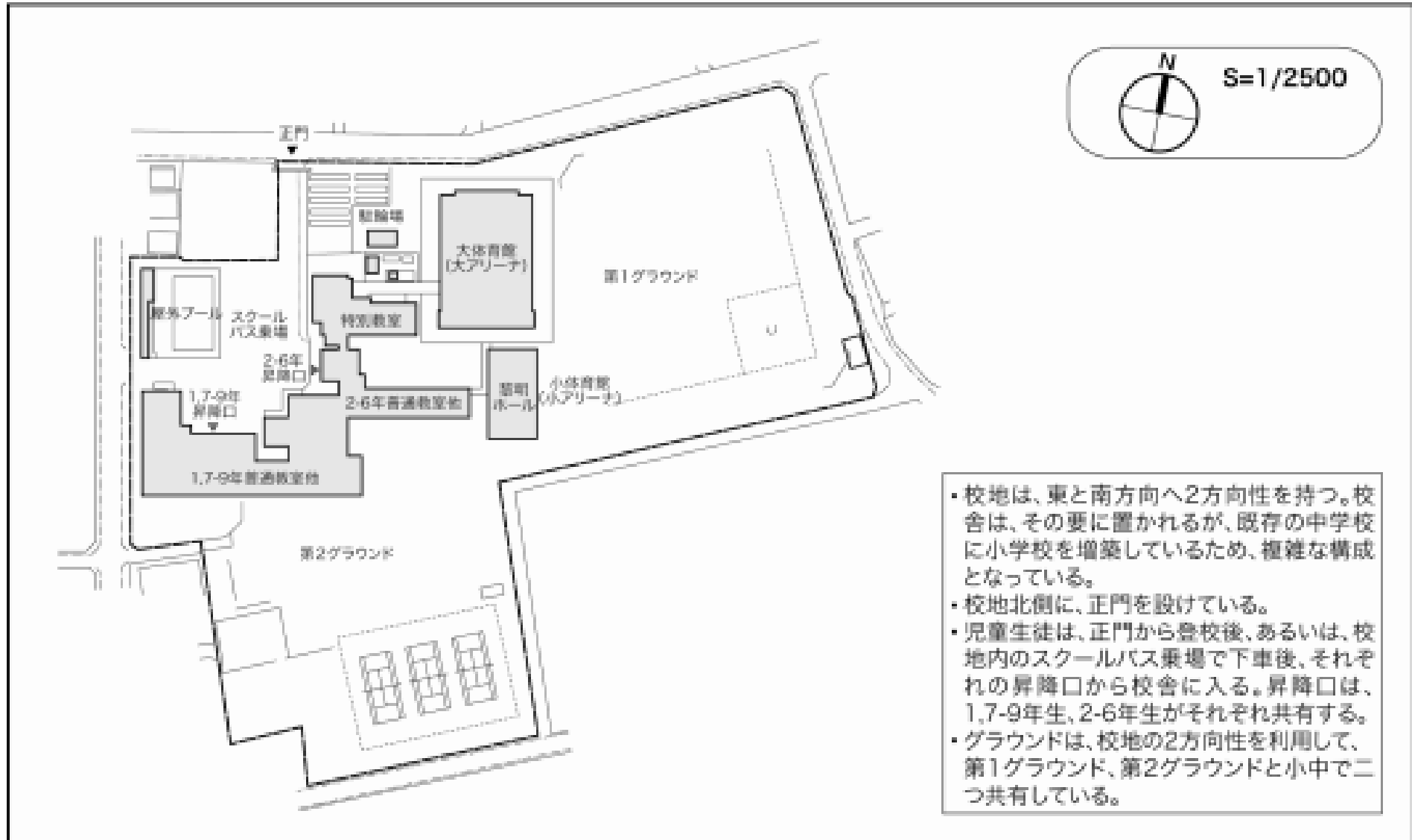
- ・ 基本的に一つの学校と考え、ほとんどの施設を共有化
- ・ 増築部分は1年生、7～9年生、職員室、図書室、多目的室、小体育館

	校長室	職員室	音楽教室	家庭教室	図書室	ランチルーム	保健室	給食室	昇降口	体育館	グラウンド	プール		
1年生	1階	学年区分ごとの座席配置 1階	音楽室1 3階	音楽室2 3階	調理室を共有 1階	なし	1階	学校給食調理員による運営 (センター方式)	1・7-9年 1階	小アリーナ(黎明ホール) 1階	第1グラウンド	第2グラウンド	水位調節して共同使用 1階	
2年生									2-6年 1階					大アリーナ 1階
3年生									1・7-9年 1階					
4年生														
5年生														
6年生														
7年生														
8年生														
9年生														

凡例  : 施設ごとの学年の利用形態を表す。

# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## 配置計画の特徴



# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## ■ 平面計画の特徴



# 豊里小中学校(宮城県登米市)

## ■ 職員室

- ・ 校舎の中央部分の1階
- ・ 職員室、校長室、保健室は小中共有で近接に配置
- ・ 机は学年区分ごとに配置

## ■ 学習関係諸室

- ・ みのりルーム、ひびきルームで(多目的教室)で小中交流授業
- ・ 学びの部屋で少人数指導

## ■ 異学年交流

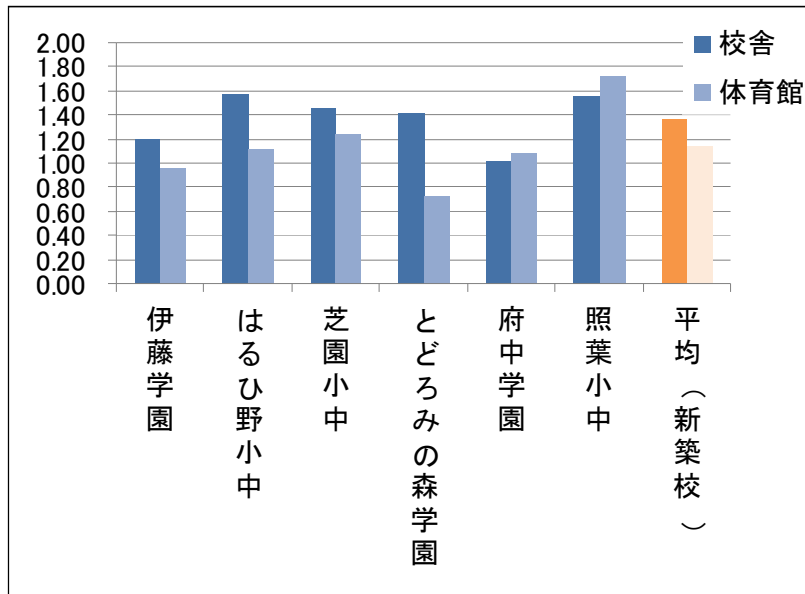
- ・ プレイホールでは休み時間に自然に異学年交流が発生
- ・ 図書メディアセンター、体育館、グラウンドでも日常的に発生



# 施設一体型校舎における建物面積の分析

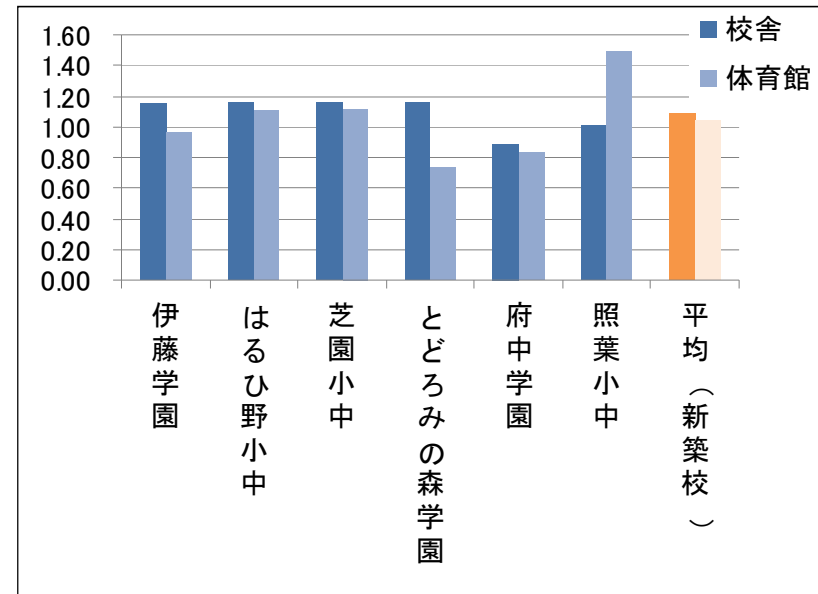
## ■ 新築校舎（6校）における建物面積の分析

- ・ 保有面積と必要面積を比較すると、6校平均で校舎37%増、体育館14%増
- ・ 面積増の理由は、小中一貫教育に対応するため、異学年交流スペースや少人数指導教室など必要面積で想定外のスペースを整備したためと考えられる
- ・ もう一つの理由は、将来の学級増を想定し普通教室数を多めに設けているため（学級増を織り込んだ比較では、校舎9%増、体育館4%増）
- ・ 特別教室など施設の共有化による面積節約効果は限定的



保有面積と必要面積の比較（現在の学級数）

縦軸：（保有面積／必要面積）



保有面積と必要面積の比較（将来の学級増を想定）

縦軸：（保有面積／将来増を含む必要面積）



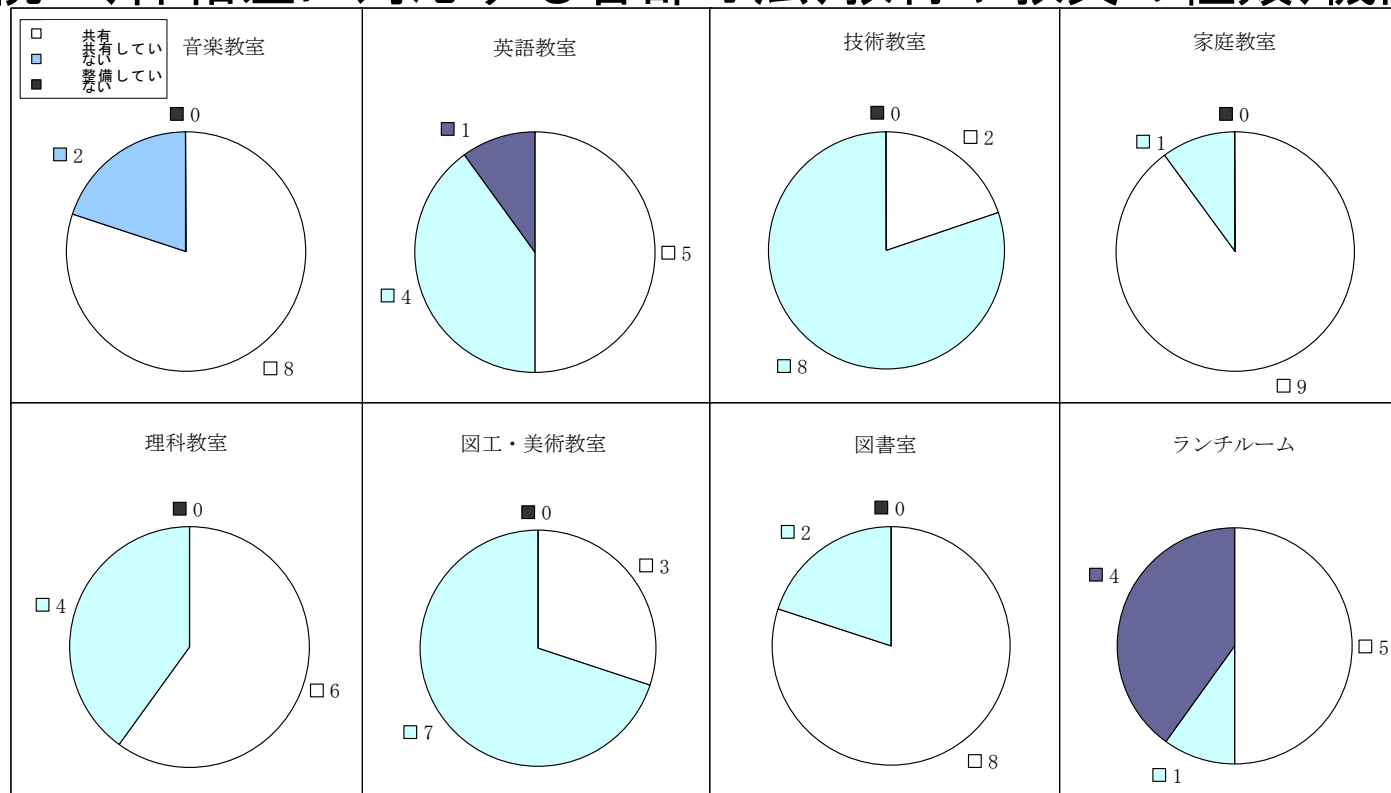
# 施設一体型校舎における特別教室の共有化

## ■ 現地調査校(10校)における特別教室等の共有化

- ・ 家庭教室、音楽教室、理科教室、図書室、ランチルームで共有が多い
- ・ 室数は、学級数、時間割、実験実習内容、教材教具等を考慮して算定
- ・ 共有化による特別教室数の節約は、小規模校など一部の学校に限定的

## ■ 共有化する上での課題

- ・ 校時の統一、体格差に対応する各部寸法、教材や教具の種類、機能区分など



特別教室の共有状況

# 小中一貫教育推進のための特徴的な施設の例(1)

## ■ 職員室の共有化

- ・ 小中教員間の連携交流を促進する効果
- ・ 学年区分に合わせた机配置、打合せスペースや教員ラウンジとの一体配置

## ■ 小中全体の学習センターとなる図書室

- ・ 図書室にコンピュータ教室や多目的教室を近接させ図書等の資源を集約化
- ・ 小中の蔵書を集めて多様な分野を用意し学年を超えた学習や交流の場に



小中共有の職員室（府中学園）



学習センターとなる図書室（照葉小中学校）

## 小中一貫教育推進のための特徴的な施設の例(2)

- 9年間一貫した教育課程に対応する学習スペース
  - ・ 9年間一貫した教育課程における少人数指導の重視
  - ・ 習熟度別授業、少人数授業に対応する多目的教室や小教室を整備
  - ・ 異学年交流授業や学年合同授業など多人数での授業や集会に対応するため多目的スペースを充実



習熟度別授業のための小教室（伊藤学園）



多目的スペースでの学年別合同授業（伊藤学園）

# 小中一貫教育推進のための特徴的な施設の例(3)

- 異学年の複数学級で使う多目的ホールや多目的教室
  - ・ 小中一貫教育校では異学年交流授業の取り組みが多いので、多目的スペースや多目的教室を活用する場面が多くなる
- 小中共有のランチルーム
  - ・ 交流給食のみならず小中合同の特別授業や集会等の異学年交流に活用
  - ・ 地域交流活動の場として利用する場合も多い



多目的スペースで交流授業（湖南小中学校）



ランチルームは異学年交流の場（芝園小中学校）

# 小中一貫教育推進のための特徴的な施設の例(4)

- 移動空間は自然発生的な異学年交流の場
  - ・ 渡り廊下や階段等の移動空間は、日常的に異学年交流が生まれる場所
  - ・ 単なる移動空間と考えずに交流を促す工夫を盛り込むと効果的
- グラウンド、登下校アプローチ等の屋外空間における異学年交流
  - ・ 休み時間や委員会活動など通じ、一日のあらゆる場面で校内の様々な場所で児童生徒間の交流が生まれている



渡り廊下は自然な交流の場（平岩小中学校）



体育委員が低学年児童を見守る（伊藤学園）

# 小中一貫教育校施設に関する今後の課題

---

- 新たに整備されつつある施設一体型校舎に関する情報収集
- 現地調査対象校における施設利用状況のフォローアップ
- 「増築＋改修」及び「改修のみ」に関する情報収集と事例分析